



本社営業所

- 本社所在地：兵庫県尼崎市
- 事業概要：古紙リサイクル業、機密書類処理業、産業廃棄物収集運搬及び処分業、非鉄及び金属売買業
- 常時使用する従業員：103名
(2025年2月時点)
- 現在の売上高：33億円
(2025年2月期)
- 法人番号：9140001048462
- Web：https://www.kyoei-wastepaper.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
阪本 聖健

すばらしき人生は、よりよい環境から

当社は、創業70年以上にわたり地域の資源循環を支えてきたリサイクル・環境ソリューション企業です。古紙問屋としての創業以来、時代の変化に合わせて事業領域を広げ、地域と産業の発展に貢献してきました。今後も廃棄物処理や資源循環を通じて、「地域と産業の発展」により一層の貢献ができるよう、未来を見据えた**“人材・設備・テクノロジーへの積極投資”**を進め、市況変化に柔軟に対応しながら堅実に事業を拡大していきます。まずは売上100億円の達成を目指し、企業としての成長を「**業界全体の活性化**」と「**循環型社会のさらなる前進**」へとつなげられるよう、精進してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上100億達成に向け、年率10%程度の成長を目指す。既存事業である「古紙リサイクル業」と「産業廃棄物の収集運搬及び処分業」を軸に売上を拡大しながら、M&Aと新領域への積極的な投資で売上100億へ近づけていく。また、人的資本経営への転換を図り、賃上げを含む**“人材への投資”**にも売上成長を目指す過程で積極的に取り組んでいく。

課題

- ・古紙（特に新聞、雑誌）の流通量減少による市場の縮小
→産廃や他分野などへの事業領域の拡張
- ・熾烈な価格競争と車両費、燃料費の高騰による利益の圧迫
→業務の効率化と高粗利案件の獲得
- ・慢性的なドライバー不足
→待遇を改善し、採用を強化
⇒**既存事業の効率を上げながら、同時に他領域へのシフトも進行**

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ◆事業効率の向上
 - ・配車ルート、車両/積載、安全衛生の最適化による生産性向上
 - ・DX投資による事務業務の自動化
 - ・高粗利案件へのリソース集中による営業の効率化
- ◆事業基盤の強化
 - ・ドライバーの待遇改善→採用強化→収集運搬力の強化
 - ・収集運搬業者のM&Aにより、静脈物流網を拡大
 - ・テクノロジーを駆使した新規事業で新たな売上基盤を構築

実施体制

- 成長戦略の実行に向け、担当領域を分けた5つのPJTチームを発足し、各自がミッションをもって最速で達成できる体制を整備。
- ・新規事業開発チーム：M&Aを含む新たな売上の柱を創出
 - ・既存事業拡張チーム：古紙/産廃事業の売上の底上げ
 - ・現場改革チーム：現場オペレーションの効率化
 - ・DX推進チーム：システムチックな管理体制の構築、効率化
 - ・人事/採用改革チーム：待遇改善&採用強化

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです